CASIO

MOON GRAPH 832

使用説明書

832

このたびは、カシオデジタルウオッチをお買いあげくださいましてありがとうございました。末永くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき正しくお取り扱いくださいますようお願い申しあげます。

なお、この使用説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

時計のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

★本機は航法計算機ではありませんので、あくまでも参考としてお使いください。

本機のムーン機能は、月の見える方向や時刻、日の出／日の入り時刻を計算するために、月を見上げる位置の緯度と経度および世界標準時との時差をあらかじめセットする方式を採用しています。お買上げ後は必ずお住いの位置を確認の上、「ムーン表示について」をご覧になり、緯度と経度、時差をセットしてください。
正しいセットが行なわれないときは、正しい方向および時刻が表示されませんのでご注意ください。

ご使用上の注意

防水性
- 裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。
- 20気圧（200M相当、表または裏に20BARまたは200Mと表示）および30気圧（300M相当、表または裏に30BARまたは300Mと表示）防水の場合。水仕事や水泳・水上スキー・スキンダイビング・スキューバダイビング（アクアラング）などで使用できます。
- 10気圧防水（100M相当）〈表または裏に10BARまたは100Mと表示〉の場合。水仕事や水泳・水上スキー・スキンダイビングなどにお使いいただけますが、専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。
- 5気圧防水（50M相当）〈表または裏に5BARまたは50Mと表示〉の場合。水仕事、水泳などでご使用になる水準です。スキンダイビング、高とび込み、ウインドサーフィンなどでのご使用はお避けください。
- BARまたはM表示のないもの。洗顔や雨などの日常の使用に耐える構造になっていますが、水泳・入浴・洗車時などでのご使用はお避けください。
- 裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査をおこないますので、必ずお買上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。（特殊な治具を必要とします）
- 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮のバンド付きの状態で、水仕事・水泳など直接水がかかるご使用はお避けください。

バンド
- バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

お手入れ
- ケースやバンドの汚れ、汗、水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふき取り、常に清潔にしてご使用ください。金属バンドについては時々、柔らかい歯ブラシなどによって、石けん水でスキ間にたまった汚れを部分洗いすることをおすすめします。
- 汚れたままですとサビたり、衣類の袖口を汚したり、皮ふの弱い方はかぶれたりする場合があります。

温度
- 直射日光が長くあたったり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ・進みが生じたり、止まったり、電池寿命が短くなることがあります。

ショック
- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが落としたり、強くぶつけると故障の原因になります。

磁気
- 家庭用電気製品（テレビなど）程度の磁気には影響ないように耐磁構造をとってありますが、強い磁気を発生する器具に近づけると一時的に遅れ・進みが生じることがあります。

薬品類
- 水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずる場合がありますのでご注意ください。

保管
- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふき取り、高温、多湿の場所をさけて保管してください。

※万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

●電池交換について

最初の電池
- 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消耗
- 電池が消耗しますと時刻の狂いが目立ったり、止まったりします。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換
- 電池交換は必ずお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

●液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。その時はお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

操作のしくみと表示の見方

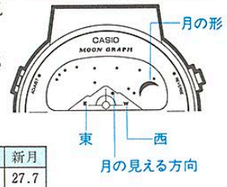
Ⓓボタンを押すごとに以下の順でモードが切り替わります。(押すごとに確認音が鳴ります)
※詳しくは各機能の項目をご覧ください。
※各モードでその機能を使用した後、Ⓓボタンを押すと直接時刻・カレンダーモードに戻ります。



ムーン表示について

〈ご注意〉
本機のムーン機能は使用場所の緯度・経度・時差をセットしませんと正しく表示されません。ご使用前には「使用場所のセット」をよくお読みになり、各セットを行なってください。なお、本使用説明書の例題は全て使用場所を「東京(GMT＋9,140°E,36°N)」としています。ご使用の場所によっては表示状態が異なりますので、ご理解の上操作を行なってください。

ムーン表示は、表示している日（年・月・日）の月の見える方向（時角）および形をあらわします。
表示している月は、その日の月の形（満月・三日月等）のみあらわしており、月の見える方向はムーン表示下部にある山型の絵の中にある点で見ます。
※E＝East：東、W＝West：西。
月の形は月齢により、おおよその月の形を表示します。



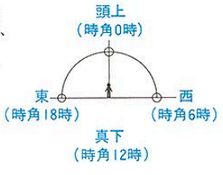
●月齢と月の形（月の満ち欠けの様子）に対する表示

月の形	新月		上弦		満月		下弦		新月
月齢	0.0〜1.8	1.9〜5.5	5.6〜9.2	9.3〜12.9	13.0〜16.6	16.7〜20.2	20.3〜23.9	24.0〜27.6	27.7〜29.5
表示	◗	◗	◗	●	●	●	◖	◖	◖

※月の形は表示日の正午において、北半球を基準として月を南向きに見上げたときのおおよその形で、左右どちらかが欠けているかを見ます。南半球や赤道附近で北よりに月が見えるときは、左右が逆に見えます。

●月の見える方向

月の見える方向は時角という角度であらわされ、頭上を時角0時として頭上から90°西を6時、真下を12時、頭上から90°東を18時とします。
※時角18時、時角6時のときが必ずしも月の出・月の入りとはなりませんが、おおよその目安となります。
※地球上ではどこでも月は東から登り西へ沈みますが、正中（見上げたときの高度が最も高くなるとき）する方向は見る位置により異なります。



赤道附近：ほぼ頭上だが、日によって北へ傾いたり南へ傾いたりする。
北半球：南側
南半球：北側

■使用場所のセット（緯度・経度・時差のセット）

月の見える方向は見る人の地球上の位置により異なります。
本機では月を見る方向や日の出／日の入り時刻を計算するために緯度と経度および世界標準時を基準とした時差をあらかじめセットする方式を採用しています。
セットは一度行なえば再びする必要はありませんが、旅行や引越しなどで大きく移動した場合はその場所の緯度・経度（海外のときは時差）をセットしなおしてください。
※現在お住いの場所の緯度・経度につきましては、巻末にあります「日本の緯度・経度」またはお手もとの地図を参照してください。

●緯度・経度・時差のセット

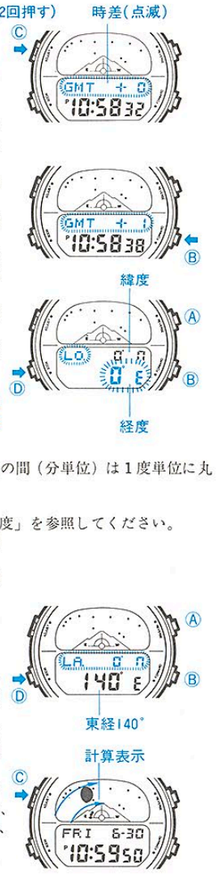
(1)時刻・カレンダーモードのときにⒸボタンを続けて2回押すと時差のセットとなります。
(2)このときⒷボタンを押すごとに時差が1つずつ進みます。
※Ⓑボタンは押し続けると早送りができます。
Ⓑボタンを押してお住いの時差を表示させます。日本の時差は＋9時間ですので、日本で合わせるときは"＋9"とします。
※時差のセットのときⒶボタンによる表示の戻しはできません。
※その他の国で時差を合わせるときは「時差と緯度・経度」の表を参照してください。
※サマータイム（DST：Daylight Saving Time）を採用している場合は、通常の時差に＋1時間した時差をセットしてください。
(3)時差のセットが終わりましたら、Ⓓボタンを押すと経度のセットとなります。
経度はⒶボタンまたはⒷボタンを押すごとに以下の順に表示しますので、緯度を表示させます。

←Ⓑ ←Ⓑ
180°E～0°E～179°W ＊E：東経 W：西経
Ⓐ→ Ⓐ→

※Ⓐ・Ⓑボタンとも押し続けると早送りができます。
※緯度・経度のセットは1度（1°）単位ですので、その間（分単位）は1度単位に丸めてセットしてください。
例：50°40′は51°とセットする。
※日本国内の緯度・経度については「日本の緯度・経度」を参照してください。
(4)経度のセットが終わりましたら、Ⓓボタンを押すと緯度のセットとなります。
緯度はⒶボタンまたはⒷボタンを押すごとに以下の順に表示しますので、緯度を表示させます。

←Ⓑ ←Ⓑ
65°n～0°n～65°S ＊n：北緯 S：南緯
Ⓐ→ Ⓐ→

(5)時差・経度・緯度のセットが終わりましたらⒸボタンを押すと点滅が止まり、時刻・カレンダーモードに戻ります。
※時差・経度・緯度を変更した後、Ⓒボタンを押して時刻・カレンダーモードに戻すと、内部計算が行なわれ、月の表示が回る計算表示となります。
なお、計算表示中はⒹボタンを押して他のモードに切り替えないでください。もし、切り替えたときは、Ⓓボタンを押して再び時刻・カレンダーモードにし、計算を終了させてください。
●セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的に点滅が止まり、時刻カレンダーモードの表示に戻ります。



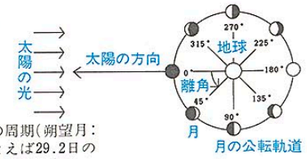
〈月の形、位置などが正しく表示されないときは〉

月の形や位置などが実際に観測したものや公に予測されたものと著しく異なる場合は、セット内容が間違っている場合がありますので、以下のセット内容をご確認の上、正しくセット仕直してください。
①基本時計（時刻・カレンダーモードで表示される）の年・月・日・時・分が間違っていませんか。
②世界標準時との時差。また、プラスとマイナスを間違えていませんか。
特にサマータイムを採用しているときは、通常の時差に＋1時間してください。
③経度（LO）と緯度（LA）を逆にセットしていませんか。
④東経（E）と西経（W）を間違えていませんか。
⑤北緯（N）と南緯（S）を間違えていませんか。

〈参考：月の満ち欠けと月齢〉

月は約29.53日の周期で、満ち欠けを繰り返します。これは月の公転により地球と太陽に対する月の位置（月の離角）が少しずつずれることで、地球から見た月の影の見え方がかわるためです。
※月の離角とは、地球から見て太陽の見える方向からの角度を言います。
月齢とは新月（朔：さく）からの経過時間を日数であらわしたもので、たとえば6月14日の午前6時が新月のとき（つまり月齢0日）、6月15日の午後6時の月齢は1.5日（経過時間36時間）となります。

月の満ち欠け	月の離角	月齢
新月（朔：さく）	0°	0.0日
上弦	90°	約7.4日
満月（望：ぼう）	180°	約14.7日
下弦	270°	約22.1日



※月齢の約一一日とは、月の満ち欠けの周期(朔望月：さくぼうげつ)が一定ではなく、たとえば29.2日の月もあれば29.7日の月もあるように、上弦・望・下弦となる月齢も月により異なるためです。
※月の満ち欠けや月相のことを天文用語では「月の盈虚(えいきょ)」と言います。

月齢を求めるときに、一般的には正午を基準とする場合と午前0時を基準とする場合がありますが、本機では正午における月の離角をもとに、正午の月齢を概算します。

$$月齢 = 29.53 \times \frac{月の離角}{360^\circ}（日）$$

この概算方法では月の離角をもとにしているので、月の満ち欠けの形を正確に知ることができますが、厳密な計算方法と異なるため、実際の月齢と比較すると場合によっては1日近くずれることがあります。

RE07150901A

秒の合わせ方…30秒以内の遅れ進みの修正

月に一度くらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

(1)時刻・カレンダーモードのときに、Ⓒボタンを1回押して時刻セットモードにします。



(2)時報に合わせて、Ⓑボタンを押すと「秒」が点滅しながら00秒からスタートします。

秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。



(2回押す)

(3)秒合わせが終わりましたら、Ⓒボタンを続けて2回押すと時刻・カレンダーモードに戻ります。



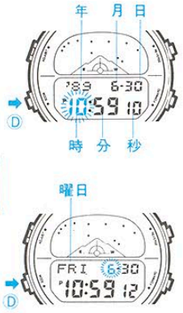
時刻・カレンダーの合わせ方

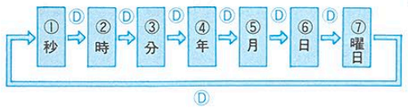
電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

(1)時刻・カレンダーモードでⒸボタンを1回押して時刻セットモードにします。



(2)Ⓓボタンを押します。
時刻セットモードのとき、Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。
点滅箇所がセット可能ですので、Ⓓボタンでセットしたい箇所を選びます。





※年は西暦で1985年～2029年までセットできます。

曜日

※曜日は年セット後表示されます。

(3)点滅箇所がⒷボタンを押すごとに1つずつ進み、押し続けると早送りができます。

Ⓓボタンでセットしたい箇所を選び、Ⓑボタンで表示をセットする操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。

注）「時」のセットのとき午前(不点灯)／午後(P)、24時間制（24）にご注意ください。

注）サマータイム（DST）に切り替えるときは、時差のセットも合わせてセットしてください。



(2回押す)

(4)セットが終わったら（どの箇所が点滅していても）、Ⓒボタンを続けて2回押すと点滅が止まり、セット完了です。

※カレンダーを変更した後、Ⓒボタンを2回押して時刻・カレンダーモードに戻すと、月の動きを計算する計算表示となります。



- 時刻セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的に点滅が止まります。
- カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。
- 時刻セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的に時刻・カレンダー表示に戻ります。

ご注意

時刻・カレンダーモードにおいて、年・月・日や時差・緯度・経度のセットを行なった後や日付が更新したときの計算表示中は、計算が終了し通常の時刻・カレンダーの表示に戻ってからボタン操作を行なってください。
計算が終了する前に、他のモードに切り替えて使用すると、新しいデータに更新されない場合があります。(ボタン操作により時計本体に障害を与えることはありません。) もし、計算表示中にボタン操作を行なった場合は、再びⒹボタンを押して時刻・カレンダーモードに戻して計算を終了させていただけば、自動的に計算をやり直し、計算表示が終了すると、新しいデータに更新されます。

ムーンタイムの使い方…操作のしくみにしたがってⒹボタンを押し、ムーンタイムモードにします。

ムーンタイムモードでは、その日の月齢や月の形、時角（月の見える角度）0時・6時・12時・18時のときの時刻がわかります。
また、Ⓐボタンを押すと日付が戻り、Ⓑボタンを押すと日付が進みますので、ⒶまたはⒷボタンを押して任意の日付を表示させて見ることもできます。
※Ⓐ・Ⓑボタンは押し続けると早送りができます。

〈ムーンタイムモード〉



上記表示は、1989年6月30日の月齢（正午の月齢＝26.2日）、月の形、各時角の時刻（時角18時＝午前2:30、時角0時＝午前8:45、時角6時＝午後2:55、時角12時＝午後9:10）を表示しています。
＊表示内の"MOON AGE"とは月齢のことで、天文用語ではAGE OF MOONとよびます。
※時角については「ムーン表示について」のイラストを参照してください。
※各時角のときの時刻は早い順に表示されます。
※4番目の時刻が"－：－－"と表示されたときは、月の1日が平均24.5時間なので、その日には存在しないためです。

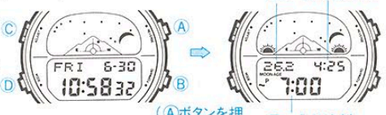


※他の日に切り替えた直後は内部計算が行なわれ、約20秒間、月の表示が回る計算表示となります。
★ムーンタイムモードでは計算表示中でもボタン操作をして、日付を切り替えたり、他のモードに切り替えることができます。

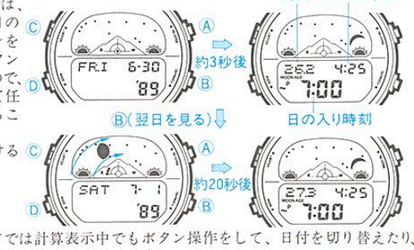
日の出／日の入り時刻の見方

日の出／日の入りの時刻は、時刻・カレンダーモードと日の出／日の入りモードの両方で見ることができます。
※日の出／日の入り時刻は5分単位で表示され、計算による地域誤差がありますので、あくまでも目安としてご覧ください。

●時刻・カレンダーモードでは
時刻／カレンダーモードでは、Ⓐボタンを押している間、その日の月齢と日の出／日の入り時刻が表示されます。
※Ⓐボタンを離すと、時刻・カレンダー表示に戻ります。



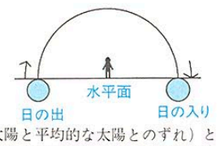
●日の出／日の入りモードでは…操作のしくみにしたがってⒹボタンを押し、日の出／日の入りモードにします。
日の出／日の入りモードでは、その日の月齢や日の出／日の入り時刻の他に、Ⓐボタンを押すと日付が戻り、Ⓑボタンを押すと日付が進みますので、ⒶまたはⒷボタンを押して任意の日付を表示させて見ることもできます。
※Ⓐ・Ⓑボタンは押し続けると早送りができます。



★日の出／日の入りモードでは計算表示中でもボタン操作をして、日付を切り替えたり、他のモードに切り替えたりすることができます。

《参考》

●日の出／日の入りとは
本機で言う「日の出／日の入り時刻」とは、海抜0mにおける水平面での時刻で、海抜高度や地形により多少の時間差ができます。一般に高度が高くなるほど日の出は早くなり、日の入りは遅くなります。



●日の出／日の入り時刻の計算
日の出／日の入り時刻は日付による均時差（実際の太陽と平均的な太陽とのずれ）と視赤緯(季節によりかわる太陽高度)、場所によるGMTとの時差と緯度・経度により決まります。
本機では、これらのデータを簡略化した推算式により概算していますので、地域によっては多少の誤差がでることがあります。

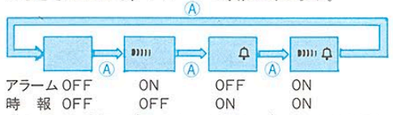
●予測誤差
・月齢：±約1日
※本機では、月齢を月の形を決めるもととなる月と太陽の離角より逆算していますので、誤差がでることがあります。
・月の時角一致時刻：±約10～20分
・日の出／日の入り時刻：低～中緯度→±約5分以内
高　緯　度→±約5～10分以内

アラーム・時報の使い方…操作のしくみにしたがってⒹボタンを押し、アラームモードにします。

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間電子ブザーで知らせてくれます。
また、毎正時（00分のとき）を"ピッピッ"と電子ブザーで知らせる時報もセットすることができます。
※毎正時には（時報のON／OFFにかかわらず）ムーン表示部の左上から右下にかけて流れ星が流れます。

●アラームのセットの仕方
(1)アラームモードでⒸボタンを押すと「時」が点滅します。
※アラームONマーク（ıllll）が点灯します。
このとき、Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」を移動します。点滅箇所がセット可能ですのでⒹボタンを押してセットしたい箇所を選びます。
(2)点滅箇所の表示数字がⒷボタンを押すごとに1つずつ進み、押し続けると早送りができますので、合わせたい「時」を表示させます。
※「時」のセットのとき午前（不点灯）／午後（P）にご注意ください。
※基本時刻を24時間制表示にしているときはアラーム時刻のセットも自動的に24時間制表示となります。
(3)「時」のセットが終わりましたら、Ⓓボタンを押すと「分」が点滅します。「分」も「時」と同様な操作で合わせたい「分」を表示させます。
(4)セットが終わりましたらⒸボタンを押してセット完了です。
●アラーム時刻セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的に点滅が止まります。

●アラーム・時報を鳴らすには
アラームモードのとき、Ⓐボタンを押すごとにアラームONマーク（ıllll）、時報ONマーク（♀）が以下の順で点灯・不点灯をくりかえします。各マークとも点灯しているときがONで、アラーム・時報が鳴ります。



アラーム	OFF	ON	OFF	ON
時　報	OFF	OFF	ON	ON

アラーム・時報を鳴らさないときは、各マークが点灯していない状態にします。

●鳴っている電子ブザーを止めるには
鳴っている電子ブザーを止めるにはⒶⒷⒹボタンのいずれかのボタンを押します。

●モニターアラーム
アラームモードでⒷボタンを1～2秒以上押し続けると電子ブザーが鳴ります。



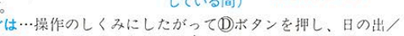
ストップウオッチの使い方…操作のしくみにしたがってⒹボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

★計測の仕方
Ⓑボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。計測中Ⓐボタンを押すと表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。
Ⓑ・Ⓐボタンともそれぞれ押すと操作確認音が鳴ります。



●通常の計測



※積算計測…ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート（Ⓑボタンを押す）すれば、表示タイムに引続き計測をはじめます。

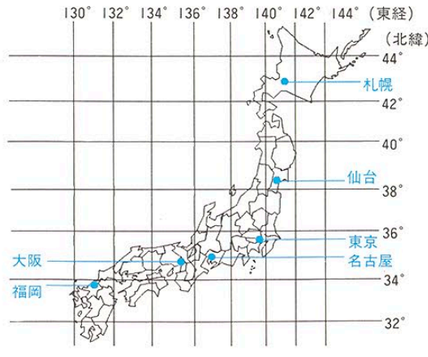
●スプリットタイム（途中経過時間）の計測



●1着・2着のタイム計測



日本の緯度・経度



時差と緯度・経度

都　市　名	標準時差	DST	経　度	緯　度
パゴパゴ	－11	－10	171°W	14°S
ホノルル	－10	－9	158°W	21°N
パピート	－10	－9	150°W	18°S
アンカレッジ	－9	－8	150°W	61°N
ロサンゼルス	－8	－7	118°W	34°N
サンフランシスコ	－8	－7	122°W	38°N
ラスベガス	－8	－7	115°W	36°N
バンクーバー	－8	－7	123°W	49°N
シアトル	－8	－7	122°W	48°N
デンバー	－7	－6	105°W	40°N
エルパソ	－7	－6	106°W	32°N
エドモントン	－7	－6	114°W	54°N
シカゴ	－6	－5	88°W	42°N
ヒューストン	－6	－5	95°W	30°N
ダラス	－6	－5	97°W	33°N
ニューオリンズ	－6	－5	90°W	30°N
メキシコシティ	－6	－5	99°W	19°N
グテマラシティ	－6	－5	91°W	15°N
ニューヨーク	－5	－4	74°W	41°N
モントリオール	－5	－4	74°W	45°N
デトロイト	－5	－4	83°W	42°N
マイアミ	－5	－4	80°W	26°N
ボストン	－5	－4	71°W	42°N
ワシントン	－5	－4	77°W	39°N
バナマシティ	－5	－4	80°W	9°N
リマ	－5	－4	77°W	12°S
カラカス	－4	－3	67°W	10°N
サンチアゴ	－4	－3	71°W	33°S
リオデジャネイロ	－3	－2	43°W	23°S
サンパウロ	－3	－2	47°W	24°S
ブラジリア	－3	－2	48°W	16°S
ブエノスアイレス	－3	－2	58°W	35°S
アゾレス諸島	－1	－1	25°W	38°N
ロンドン	＋0	＋1	0°E	51°N
ダブリン	＋0	＋1	6°W	53°N
リスボン	＋0	＋1	9°W	39°N
カサブランカ	＋0	＋1	8°W	34°N
ダカール	＋0	＋1	17°W	15°N
パリ	＋1	＋2	2°E	49°N
ミラノ	＋1	＋2	9°E	45°N
ローマ	＋1	＋2	12°E	42°N
マドリード	＋1	＋2	4°W	40°N
アムステルダム	＋1	＋2	5°E	52°N
ハンブルグ	＋1	＋2	10°E	54°N
フランクフルト	＋1	＋2	9°E	50°N
ウィーン	＋1	＋2	16°E	48°N
ストックホルム	＋1	＋2	18°E	59°N
ブダペスト	＋1	＋2	19°E	48°N
プラハ	＋1	＋2	14°E	50°N
カイロ	＋2	＋3	31°E	30°N
アテネ	＋2	＋3	24°E	38°N
ヘルシンキ	＋2	＋3	25°E	60°N
イスタンブール	＋2	＋3	29°E	41°N
ベイルート	＋2	＋3	35°E	34°N
ダマスカス	＋2	＋3	36°E	33°N
ダーバン	＋2	＋3	31°E	30°S
モスクワ	＋3	＋4	38°E	56°N
クウェート	＋3	＋4	48°E	29°N
ジェッダ	＋3	＋4	39°E	21°N
ナイロビ	＋3	＋4	37°E	1°S
バーレーン	＋3	＋4	50°E	26°N
ドバイ	＋4	＋5	55°E	25°N
アブダビ	＋4	＋5	54°E	24°N
カラチ	＋5	＋6	67°E	25°N
デリカ	＋6	＋7	90°E	24°N
ダッカ	＋6	＋7	69°E	41°N
バンコク	＋7	＋8	100°E	14°N
ジャカルタ	＋7	＋8	107°E	6°S
アンペン	＋7	＋8	105°E	12°N
ハノイ	＋7	＋8	106°E	21°N
香港	＋8	＋9	114°E	22°N
シンガポール	＋8	＋9	104°E	1°N
クアラルンプール	＋8	＋9	102°E	3°N
北京	＋8	＋9	116°E	40°N
上海	＋8	＋9	121°E	31°N
台北	＋8	＋9	122°E	25°N
マニラ	＋8	＋9	121°E	15°N
パース	＋8	＋9	116°E	32°S
東京	＋9	＋10	140°E	36°N
ソウル	＋9	＋10	127°E	38°N
平壌	＋9	＋10	126°E	39°N
シドニー	＋10	＋11	151°E	34°S
メルボルン	＋10	＋11	145°E	38°S
グアム	＋10	＋11	145°E	13°N
ヌメア	＋11	＋12	166°E	22°S
ポートヴィラ	＋11	＋12	168°E	18°S
ウェリントン	＋12	＋13	175°E	41°S
オークランド	＋12	＋13	175°E	37°S
クライストチャーチ	＋12	＋13	173°E	43°S
ナウルアイランド	＋12	＋13	166°E	1°S

※この表は1989年6月現在作成のものです。
※時差はグリニッジ標準時（協定世界時：UTC）を基準としたものです。
※DSTとはサマータイムのことで、Daylight Saving Timeの略です。
また、DSTの採用時期は各都市により異なりますし、採用していない都市もありますのでご確認ください。

製品仕様

水晶発振周波数	32,768Hz
常温携帯精度	平均月差±15秒以内
基本機能	時刻表示　時・分・秒・午前／午後(P)／24時間制表示(24) カレンダー表示　月・日・曜日　フルオートカレンダー(1985年～2029年)
ムーンタイム機能	月齢・月の形・月の位置・時角0時／6時／12時／18時の時刻表示　順送り表示機能つき
日の出／日の入り機能	月齢・日の出時刻・日の入り時刻表示　順送り表示機能つき
アラーム機能	時刻アラーム　セット単位＝分　電子ブザー＝20秒間 時報　毎正時に2回電子ブザーで報時
ストップウオッチ機能	計測単位＝1/100秒　計測範囲＝23時59分59秒99（24時間計） 計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測
セット機能	時刻・カレンダーセット機能、秒合わせ機能（±30秒アジャスト）、アラームセット機能
その他	自動復帰機能、モニターアラーム、12/24時間制表示切替え
主要回路素子	音叉型高性能水晶振動子　ワンチップC／MOS－LSI
使用電池	CR－1616（電池別途販売） ※電池はカシオ製電池またはカシオ指定電池をお使いください。
電池寿命	約3年（1日当り、電子ブザーを20秒間使用した場合）